

地域医療支援病院業務報告書

令和5年9月21日

愛知県知事殿

開設者 住 所 東京都千代田区九段南1-1-10 九段合同庁舎

氏 名 国家公務員共済組合連合会

理事長

下記のとおり、令和4年度の業務に関して報告します。

記

1 病院の名称等

名 称	国家公務員共済組合連合会 名城病院					
所 在 地	名古屋市中区三の丸一丁目3番1号					
診 療 科 名	内科、神経内科、循環器内科、小児科、外科、整形外科、心臓血管外科、皮膚科、泌尿器科、婦人科、眼科、脳神経外科、放射線科、麻酔科、歯科口腔外科					
病 床 数	精 神	感 染 症	結 核	療 養	一 般	合 計
					326	326

2 施設の構造設備

施 設 名	設 備 概 要
集 中 治 療 室	(主な設備) 救急蘇生装置一式、除細動器、心電計、ポータブルエックス線装置、呼吸循環監視装置、人工呼吸器装置、微量輸液装置、血液ガス分析装置簡易血糖測定装置、心電図モニター、急性血液浄化装置、心拍出量測定装置 他 病床数 6床
化 学 検 査 室	(主な設備) 全自動エンザイムイムノアッセイ装置、全自動血液凝固測定装置、免疫自動分析装置、便潜血用全自動免疫化学分析装置、臨床化学自動分析装置、血液ガス分析装置、血液自動分析装置、全自動尿分析装置、全自動グルコース測定装置、自動採血管準備システム、臨床検査システム、全自動グリコヘモグロビン測定装置 他
細 菌 検 査 室	(主な設備) 自動感受性検査分注装置、自動同定・感受性検査測定装置、セーフティキャビネット、顕微鏡、自動血液培養装置、孵卵器 他
病 理 検 査 室	(主な設備) 自動細胞収集装置、全自動封入装置、顕微鏡用撮影装置、自動包埋装置、自動染色装置、マイクローム、クリオスタット、パラフィン包埋センター 他

病理解剖室	(主な設備) 解剖台、解剖用強力吸引器、遺体用冷蔵庫、写真撮影装置 他
研究室	(主な設備) 電子顕微鏡、机、椅子、ロッカー
講義室	室数 3室 収容定員 130人 (地下1階会議室 定員100人、3階会議室 定員15人、3階カンファレンス室 定員15人)
図書室	室数 1室 蔵書数 800冊程度 蔵書数は約800冊だが、国家公務員共済組合連合会中央図書室の図書をオンラインで検索、閲覧するシステムとなっている。
救急用又は患者搬送用自動車	(主な設備) 酸素吸入装置、血圧計、Spo2モニター、ストレッチャー固定装置 保有台数 1台
医薬品情報管理室	[専用室の場合] 床面積 61.7㎡ -[共用室の場合] 室と共用

備考1 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

2 規則第9条の2第1項各号に掲げる事項を記載した書類を添付すること。

別紙 1

紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績

1 算定期間 令和4年4月1日 ～ 令和5年3月31日

2 紹介率 71.4%

紹介患者の数 (A)	初診患者の数 (B)	紹介率 (A/B×100)
4,347人	6,086人	71.4%

3 逆紹介率 63.7%

逆紹介患者の数 (C)	初診患者の数 (B)	逆紹介率 (C/B×100)
3,882人	6,086人	63.7%

※1 各人数については、前年度の延べ人数を記入すること。

※2 紹介率及び逆紹介率は、小数点以下第1位まで記入すること。

※3 紹介率が80%以上であることを承認の要件とする場合で、紹介率が65%以上80%未満の病院にあつては、今後、2年間で紹介率を80%以上とするための具体的な年次計画を明らかにする書類を添付すること。

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

共同利用の実績
(地域の医療従事者による診療、研究又は研修のための利用)

1 共同利用の実績

※1 前年度の共同利用を行った医療機関の延べ機関数、これらの医療機関のうち申請者と直接関係のない医療機関の延べ機関数、共同利用に係る病床の病床利用率等を記入すること。

- ・前年度の共同利用を行った医療機関の延べ機関数 5 4 3 件
- ・うち申請者と直接関係のない医療機関の延べ機関数 5 3 7 件
- ・共同利用に係る病床の病床利用率 1 0 . 0 %

2 共同利用の範囲等

※2 病院の建物の全部若しくは一部、設備、器械又は器具のうち、共同利用の対象としたものを記入すること。

- ・共同利用病床 5 床
- ・施設（診察室、手術室、図書室、会議室等）
- ・医療機器（C T、M R I、R I、骨塩定量測定装置）

3 共同利用の体制

共同利用に関する規程	(有) ・ 無	
利用医師等登録制度の担当者	氏 名	
	職 種	事務員（地域医療連携室長）

※3 共同利用に関する規程がある場合には、当該規程の写しを添付すること。

資料 1 「国家公務員共済組合連合会名城病院 共同利用規程」のとおり

4 登録医療機関の名簿

医 療 機 関 名	開設者名	住 所	主たる診療科	申請者との経営上の関係
		資料 2 「登録医療機関名簿」 のとおり		

※4 申請に係る病院と同一の 2 次医療圏に所在する医療機関についてのみ記入すること。

5 常時共同利用可能な病床数 5 床

救急医療提供の実績

1 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

No.	職 種	氏 名	勤 務 の 態 様	勤 務 時 間	備 考
			〔 常勤 〔 専従 〔 非常勤 〔 非専従		

資料 3 「重症救急患者の受け入れに対応できる医療従事者の確保状況」のとおり

2 重症救急患者のための病床の確保状況

優先的に使用できる病床	名称 (ICU) 6床
専用病床	名称 (重症個室) 16床

※ 一般病床以外の病床を含む場合は、病床区分ごとに記入すること。

3 重症救急患者に必要な検査又は治療を行うために必要な診療施設の概要

施 設 名	床 面 積	設 備 概 要	24時間使用の可否
救急外来	54.36㎡	(主な設備) 除細動器、人工呼吸器装置、呼吸循環監視装置、心電計、パルスオキシメーター、救急カート、輸液ポンプ、シリンジポンプ、超音波測定装置、吸入器 他	可
集中治療室	148.90㎡	(主な設備) 救急蘇生装置一式、除細動器、心電計、ポータブルエックス線装置、呼吸循環監視装置、人工呼吸器装置、微量輸液装置、血液ガス分析装置簡易血糖測定装置、心電図モニター、急性血液浄化装置、心拍出量測定装置 他	可
放射線検査室	815.11㎡	(主な設備) コンピューター断層撮影装置 (80DAS-CT)、磁気共鳴撮影装置 (1.5T-MRI)、頭・腹部用血管撮影装置、心血管用撮影装置、X線TV装置、一般撮影装置、ポータブル撮影装置、医療用画像管理システム (PACS) 他	可
中央検査室	577.22㎡	(主な設備) 全自動血液凝固測定装置、免疫自動分析装置、便潜血用全自動免疫化学分析装置、臨床化学自動分析装置、血液ガス分析装置、全自動グルコース測定装置、自動採血管準備システム、臨床検査システム、全自動グリコヘモグロビン測定装置、心臓超音波測定装置、脳波検査装置、聴力検査装置、運動負荷装置、肺機能測定装置、血圧脈波測定装置、心電計、誘発電位測定装置 他	可

4 救急医療の提供の実績

救急用又は患者搬送用の自動車により搬入した救急患者の延べ数	3, 7 2 7 人 (1, 5 5 2 人)
上記以外の救急患者の延べ数	2, 7 6 6 人 (5 4 3 人)
合計	6, 4 9 3 人 (2, 0 9 5 人)

※ () 内には、それぞれの患者数のうち入院を要した患者数を記載すること。

5 保有する救急用又は患者搬送用の自動車の出動回数

0回

6 備考

- ・循環器センターにおいては、火・木・金・土曜日は終日、月・水曜日は8：30～20:00の時間帯において循環器疾患受入可能
- ・救急告示病院（告示年月日：2020年9月1日、告示番号：愛知告示第318号）
- ・二次救急医療機関

※特定の診療科において、重症救急患者の受入れ体制を確保する場合は、その旨を記入すること。

既に、「救急病院等を定める省令」（昭和39年厚生省令第8号）に基づき知事の救急病院の認定を受けている病院及び「救急医療対策の整備事業について」（昭和52年7月6日付け医発第692号厚生省医務局長通知）に基づき救急医療を実施している病院にあつては、その旨を記入すること。

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績

1 研修の内容

資料4「令和4年度医療従事者対象研修実績」のとおり

2 研修の実績

(1) 地域の医療従事者への実施回数	12回
(2) (1) の合計研修者数	377人

※ 研修には、当該病院以外の地域の医療従事者が含まれるものを記入すること。

(2) には、前年度の研修生の実数を記入すること。

3 研修の体制

(1) 研修プログラムの有無 有・無

(2) 研修委員会の有無 有・無

(3) 研修指導者

氏名	職種	診療科	役職等	臨床経験年数	備考
	医師	消化器内科	院長	43年	責任者
	医師	心臓血管外科	副院長	36年	
	医師	循環器内科	診療部長	29年	
	医師	整形外科	診療部長	28年	
	医師	消化器内科	内視鏡部部長	21年	
	医師	小児科	小児科主任部長	26年	
	医師	麻酔科	麻酔科部長	33年	
	医師	脳神経外科	脳神経外科部長	32年	
	医師	外科	外科主任部長	22年	
	医師	呼吸器内科	呼吸器内科副部長	15年	
	医師	外科	外科病棟部長	28年	
	医師	循環器内科	循環器内科副部長	15年	

※ 研修責任者については、備考欄にその旨を記入すること。

4 研修実施のための施設及び設備の概要

施設名	床面積	設備概要
地下1階会議室	105.15m ²	(主な設備) PCプロジェクター、スクリーン、ホワイトボード、アンプ設備、机、椅子
3階カンファレンス室	20.34m ²	(主な設備) 机、椅子
3階会議室	41.88m ²	(主な設備) PCプロジェクター、スクリーン、ホワイトボード 他
図書室	30.83m ²	(主な設備) 書架、PC (インターネット)、机、椅子 他

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法

1 管理責任者等

	氏 名	職 種	役 職 等
管 理 責 任 者 の 氏名、職種、役職等		医師	院長
管 理 担 当 者 の 氏名、職種、役職等	各課（科）所属長	事務員、看護師、薬剤師、技師	課長、師長、部長、技師長

2 諸記録の保管場所及び分類方法

	保 管 場 所	分 類 方 法
診療に関する諸記録 〔 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約 〕	<ul style="list-style-type: none"> ・病院日誌 →総務課 ・各科診療日誌 →総務課・看護部 ・処方せん →薬剤部 ・手術記録 ・看護記録 ・検査所見記録 ・エックス線写真 ・紹介状 ・診療経過要約 →システムサーバ内 	<ul style="list-style-type: none"> ・病院日誌 →日付順 ・各科診療日誌 →日付順 ・ 処方せん →日付順 ・手術記録 ・看護記録 ・検査所見記録 ・エックス線写真 ・紹介状 ・診療経過要約 →病院情報システム

病院の管理及び運営に関する諸記録	共同利用の実績	地域医療連携室	
	救急医療の提供の実績	地域医療連携室	
	地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績	地域医療連携室 診療情報管理室	
	閲覧の実績		
	紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績の数を明らかにする帳簿	地域医療連携室	
<p>※ 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。</p>			

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法
及び閲覧の実績

閲覧責任者	氏名	職種	役職等		
		医師	診療情報管理部長		
閲覧担当者	氏名	職種	役職等		
		診療情報管理士	診療情報管理室長		
閲覧場所	医事課及び診療情報管理室				
総閲覧件数	医師	歯科医師	地方公共団体	その他	合計
			3	36	39
閲覧手続の概要	(登録医以外の閲覧方法) ・本人確認または本人の承諾書を確認のうえ、所定の書類にて申請、院長決裁後により閲覧する。 ・閲覧は医事課または診療情報管理室職員立ち合いのもと、所定の閲覧場所で行う。 (登録医の閲覧方法) ・地域医療連携室へ連絡のうえ、所定の書類にて申請、院長決裁後により閲覧する。				

医療法施行規則第9条の19第1項に規定する委員会の開催の実績

1 委員会の開催回数 4回

2 委員会における議事の概要

※委員会の開催回数及び議論の概要については、前年度のものを記載すること。

第33回 地域医療支援及び研修協議会

開催日：令和4年7月19日（金）（Web会議併用）

参加者：委員15名中14名参加、1名欠席

議事の概要：1. 名城病院 地域医療連携報告（令和3年度実績）

2. 地域包括ケア病棟実績報告（令和3年度実績）

第34回 地域医療支援及び研修協議会

開催日：令和4年9月27日（火）（Web会議併用）

参加者：委員15名中14名参加、1名欠席

議事の概要：1. 名城病院 地域医療連携報告（令和4年度第1四半期実績）

第35回 地域医療支援及び研修協議会

開催日：令和4年11月22日（火）（Web会議併用）

参加者：委員15名中13名参加、2名欠席

議事の概要：1. 名城病院 地域医療連携報告（令和4年度上半期実績）

第36回 地域医療支援及び研修協議会

開催日：令和5年2月24日（金）（Web会議併用）

参加者：委員15名中15名参加、欠席者なし

議事の概要：1. 名城病院 地域医療連携報告（令和4年度第3四半期実績）

詳細は資料5「地域医療支援及び研修協議会 会議資料」のとおり

患者相談の実績

患者相談を行った場所	医療福祉相談室、患者相談窓口、病棟（カンファレンス・面談室）		
患者相談担当者	氏 名	職 種	役 職 等
		医療ソーシャルワーカー	医療福祉相談室長
		医療ソーシャルワーカー	
		医療ソーシャルワーカー	
		医療ソーシャルワーカー	
		看護師	
		看護師	
		看護師	
		看護師	
		看護師	外来師長
患者相談件数	23, 562件		

患者相談の概要

＜医療福祉相談室＞ 23, 179件※主に入院患者の対応		＜患者相談窓口＞ 383件※主に外来患者の対応	
・ 疾病の背景要因の発見	8件	・ 診療内容	269件
・ 治療や療養生活への適応	603件	・ 診療費	7件
・ 家族との関係や家族の生活	672件	・ 生活面、経済面	10件
・ 職業、住居などの社会生活	50件	・ 病院施設	2件
・ 医療、生活などの経済面	555件	・ 外来療養環境	15件
・ 社会復帰への受け入れと適応	4,485件	・ 入院療養環境	4件
・ 医療機関利用	16,806件	・ 薬剤、薬局	4件
		・ 医師	3件
		・ その他	69件

※ 患者相談の概要については、相談内容を適切に分類し記載するとともに、相談に基づき講じた対策等があれば併せて記載すること。また、個人が同定されないよう配慮すること。

居宅等における医療の提供の推進に関する支援の状況

居宅等医療提供施設等における連携の緊密化のための支援等の実績

- ・ 中区在宅医療・介護連携会議 2回
- ・ 中区病院委員会 3回 (Web及び参集開催)
- ・ 中区介護保険事業者連絡会幹事会 10回 (Web及び参集開催)
- ・ 社会的に孤立した高齢者の入退院に関する地域等と病院の連携検討会 (個別地域ケア会議) 3回
- ・ 中区歯科医師会在宅医療普及研修会 1回
- ・ 介護まつり in なか2022 1日
- ・ 病病連携等強化のための医療機関・施設訪問 12回

医療を受ける者又は地域の医療提供施設に対する情報の提供の実績

- ・ 診療情報提供書 3,886件
- ・ 訪問看護指示書発行件数 247件
- ・ 介護支援連携指導料算定件数 71件
- ・ 退院時共同指導料算定件数 63件
- ・ 退院前カンファレンスを各病棟で随時実施
- ・ 名城ネットによる情報提供 (紹介患者の診療情報を登録医が専用回線を通じて閲覧可能)
- ・ 登録医との症例検討会、グループ病院 (東海病院) との合同症例検討会の開催
- ・ 患者向け広報誌「わ」、連携医療機関向け広報誌「病診連携だより」の発行

その他居宅等における医療の提供の推進に関し必要な支援の実績

- ・ 退院前カンファレンス開催実績 57件
- ・ 在宅支援調整件数 553件

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

その他地域医療支援病院に求められる取組みの状況

1 連携体制を確保するための専用の室、担当者

専 用 の 室 の 名 称	地域医療連携室		
	氏 名	職 種	役 職 等
担 当 者		医師	地域医療連携部長
		看護師	
		看護師	
		事務員	地域医療連携室長
		事務員	
		事務員	
		事務員	
		事務員	

2 病院の機能に関する第三者による評価

評 価 を 行 っ た 機 関 名	日本医療機能評価機構
評 価 を 受 け た 時 期	2022年12月2日～2027年12月1日

※ 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

3 退院調整部門の取組

<p>退院調整部門の実績</p> <p>地域医療連携室および医療福祉相談室において、専従の退院調整看護師及び医療ソーシャルワーカーが患者または患者家族と面談を行い、退院の支援を行っている。</p> <p>(令和4年度退院支援件数 899件)</p>
--

4 地域連携を促進するための取組みの実績

<p>策定した地域連携クリティカルパスの種類・内容</p> <p>脳卒中地域連携パス、心不全地域連携パス</p>
<p>地域連携クリティカルパスを普及させるための取組み</p> <p>連携病院と定期的な多職種間での打合せ、院内委員会での検討、多職種間で勉強会を開催など</p>

5 病院が果たしている役割に関する情報発信の実績

情報発信の方法

病院ホームページ、院内掲示、デジタルサーネージによる広報、広報誌の発刊（患者向け「わ」、地域医療機関向け「病診連携だより」）

内容等の概要

病院紹介、各診療科・部門等の広報、地域活動の紹介、医療機関向けの案内（連携システム等）

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。